MFC-460CN/DCP-750CN

Windows Vista®用 インストールガイド

はじめにお読みください

Step1

お使いになる前に

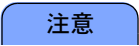
別冊の「かんたん設置ガイド」にしたがって本製品の付属品を確認し、設置・接続を行ってください。

Step2

パソコン(Windows Vista®)に接続する

本書にしたがって、Windows Vista®用ドライバとソフトウェアをインストールしてください。

準備完了

本製品の使いかたについては、別冊のユーザーズガイドや CD-ROM 内の「画面で見るマニュアル(ユーザーズガイド)」をお読みください。

このたびは、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
当社商品をセッティングしていただくためにこのガイドをよくお読みください。

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

Version B

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先などを記載しています。

動作環境

本製品とパソコン（Windows Vista®）を接続する場合、パソコン側では以下の動作環境が必要となります。

CPU ／メモリー	ディスク容量	インターフェース
1 GHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサ メモリ 512MB（推奨 1GB）以上 ※ CD-ROM ドライブ必須 ※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。 • 1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1 GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。	1.1GB 以上の空き容量	• USB2.0 フルスピード • 有線ネットワーク（10BASE-T/100BASE-TX） • 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g） ※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをご使用ください。 ※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。 ※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

- CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- インストール時は管理者権限を持つユーザでログオンする必要があります。

目次

STEP 1 お使いになる前に

このマニュアルについて

このマニュアルは Windows Vista® 用のドライバとソフトウェアのインストールについて説明してます。インストールを行う前に、別冊の「かんたん設置ガイド」にしたがって、本製品の設置・接続が終わっていることを確認ください。その後、このマニュアルにしたがって、ドライバとソフトウェアをインストールしてください。その他、本製品についてくわしくは、別冊の「かんたん設置ガイド」および「ユーザーズガイド」をお読みください。

Windows Vista® 用 CD-ROM の内容

付属の Windows Vista® 用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして表示される画面から、以下のことが行えます。

1　インストール
本製品をプリンタやスキャナとして使用するために必要なドライバをインストールします。また、本製品をより便利にお使いいただくために以下のソフトウェアもインストールします。 • Presto!® PageManager® TWAIN/WIA に準拠した、スキャンしたファイルを管理するソフトウェアです。 • ControlCenter3 スキャナ機能などさまざまな機能の入り口となるソフトウェアです。 • TrueType フォント ブラザーオリジナルの日本語フォントです。インストール時に「カスタム」を選ぶと、インストールできます。
2　その他ソフトウエアとユーティリティ
各種ドライバ、ソフトウェアを追加インストールできます。
3　画面で見るマニュアル
「ユーザーズガイド」をパソコンで閲覧、印刷できます。
4　オンラインユーザー登録
インターネット経由でユーザー登録を行います。
5　サービスとサポート
• ブラザーホームページ ブラザーのホームページへリンクします。 • ソリューションセンター インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。 • ブラザーダイレクトクラブ 消耗品などが購入できるオンラインショップへリンクします。
6　修復インストール
ドライバのインストールがうまくいかなかった場合にクリックすると、ドライバを自動的に修復します。（USB ケーブルで接続している場合のみ使用できます。）

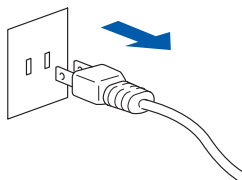
STEP 2 プリンタドライバをインストールする

USB ケーブルで接続する場合

注意

■ インストールをする前に、別冊の「かんたん設置ガイド」にしたがって、設置・接続が終わっていることをご確認ください。
■ メモリーカードが本製品に差し込まれていないことをご確認ください。
■ 起動しているアプリケーションがある場合は、終了してからインストールを始めてください。
■ 本製品に USB ケーブルと LAN ケーブルを同時につないでご使用になりたい場合は、手順にしたがって両方のインストールを行ってください。このとき、LAN ケーブルと USB ケーブルを積み上げて、本体内部の溝におさめてください。（コア付きの USB ケーブルはご使用になれません。）

MFC-460CN のイラストを使用して説明します。

1 本製品の電源コードをコンセントから外す

注意

■ ここではまだ USB ケーブルは接続しないでください。

2 パソコンの電源を入れる

「管理者権限を持つユーザ」でログオンします。

3 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

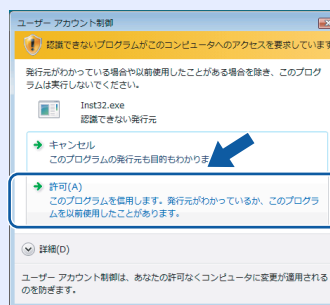
メイン画面が表示されます。

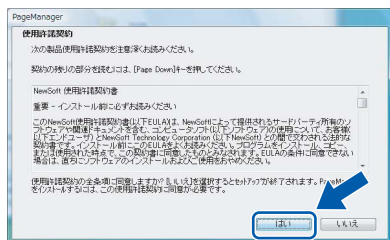
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

4 ［インストール］をクリックする

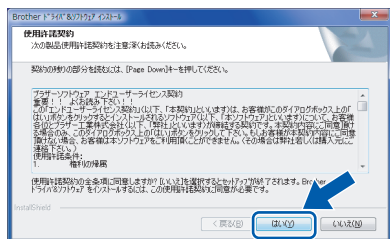
ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

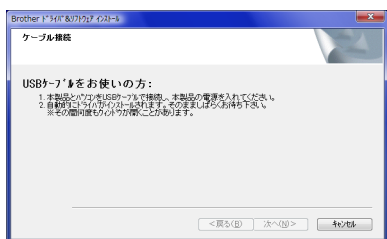
注意

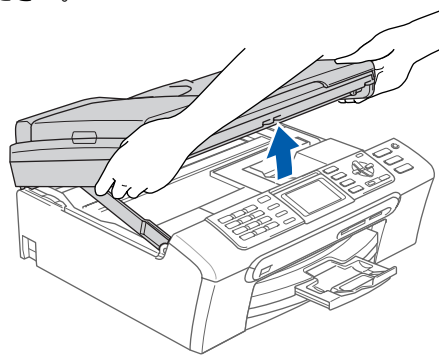
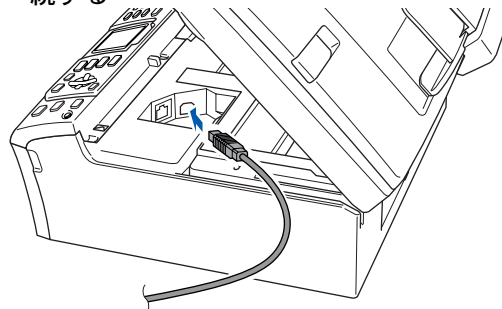
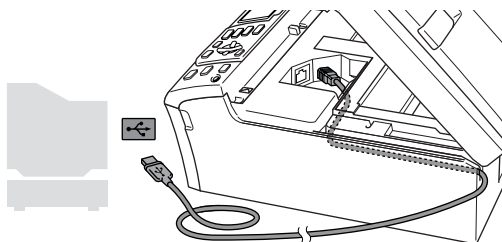
■ 以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

5 次の画面が表示されたら［USB ケーブル］を選び、［次へ］をクリックする

6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto!® PageManager® がインストールされます。

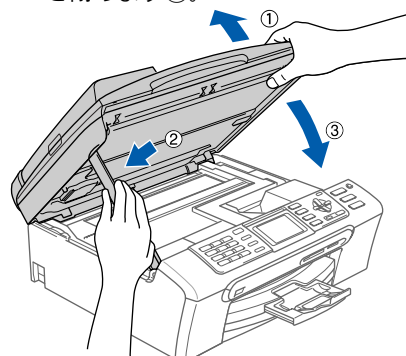
Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

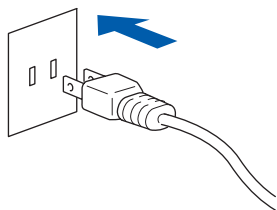
7 使用許諾契約の内容を確認して［はい］をクリックする

以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

8 パソコンにケーブル接続の画面が表示されたら、本製品とパソコンを USB ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを開ける

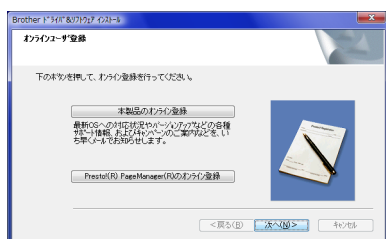
本体カバーをしっかりとロックされる位置まで上げてください。

(2) USB ケーブル接続端子に USB ケーブルを接続する

(3) USB ケーブルを本製品の溝におさめ、パソコンに USB ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

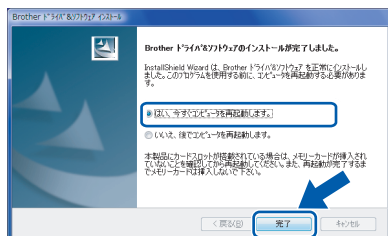
ロックを解除するために少し本体カバーを持ち上げ①、本体カバーサポートをゆっくり押しながら②、本体カバーを閉めます③。

注意

■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

9 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

インストールが自動的に開始されます。
インストール中に、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、ユーザー登録画面が表示されるまで、しばらくおまちください。

10 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 11 に進みます。

11 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

LAN ケーブルで接続する場合

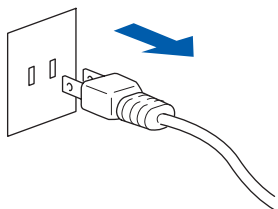
ハブまたはルータを使用して、本製品を LAN ケーブルで接続します。複数のパソコンから本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。お使いの製品のページへ進んでください。

注意

- インストールの前に、本製品の【ネットワーク I/F】設定が【有線 LAN】になっていることを確認してください。【ネットワーク I/F】は、メニュー を押し、▲▼ で【LAN】メニューの【ネットワーク I/F】を選び、OK を押すと確認できます。
- 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。
- Windows® のファイアウォール機能や、ウィルス対策ソフトをお使いの場合は、ファイアウォール機能を無効にしてからインストールを行なってください。

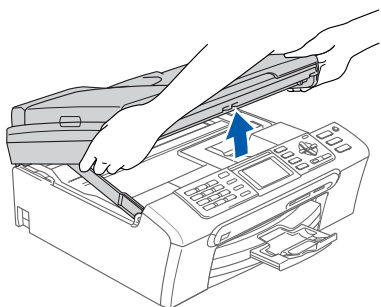
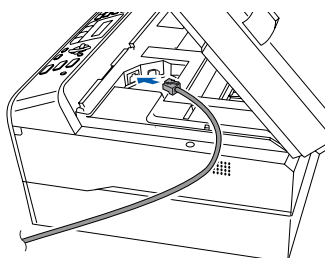
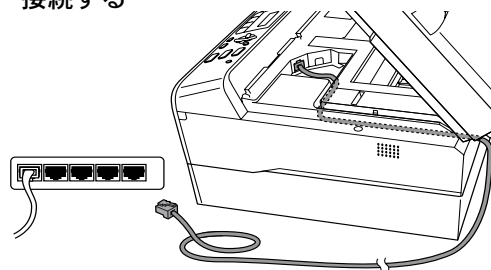
MFC-460CN のイラストを使用して説明します。

1 本製品の電源コードをコンセントから外す

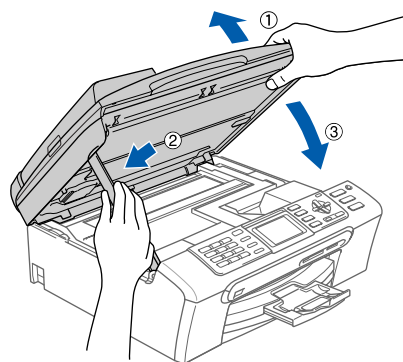
注意

- 本製品にメモリーカードが差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。

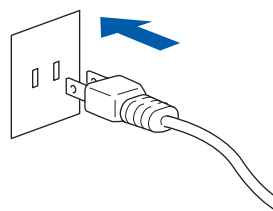
2 本製品を LAN ケーブルで接続する

(1) 本製品の本体カバーを開ける

本体カバーをしっかりとロックされる位置まで上げてください。

(2) LAN ケーブル接続端子に LAN ケーブルを接続する

(3) LAN ケーブルを本製品の溝におさめ、ハブまたはルータの LAN ポートに LAN ケーブルを接続する

(4) 本体カバーを閉じる

ロックを解除するために少し本体カバーを持ち上げ①、本体カバーサポートをゆっくり押しながら②、本体カバーを閉めます③。

注意

- 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

3 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

4 パソコンの電源を入れる

「管理者権限を持つユーザ」でログオンします。

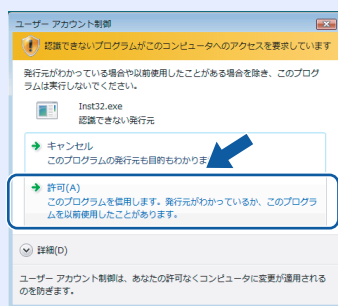
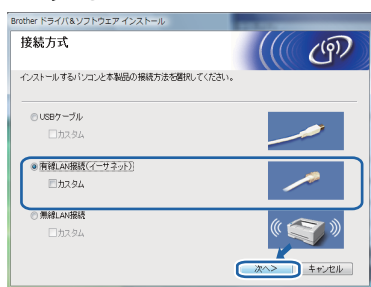
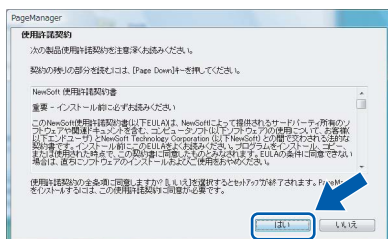
5 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

モデルを選択する画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

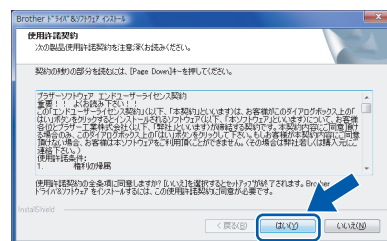
画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

6 ［インストール］をクリックする

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

7 ［有線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

8 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto!® PageManager® がインストールされます。

Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾契約の内容を確認して［はい］をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

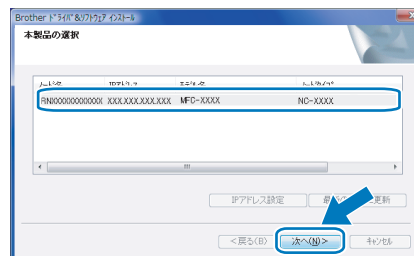
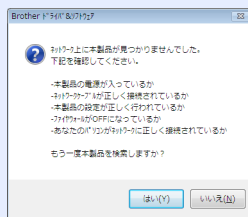
このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

ネットワーク上に複数のブラザー製品がある場合は、インストールする製品を一覧から選び、［次へ］をクリックしてください。

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックしてください。
ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

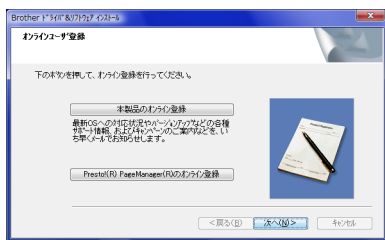
画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。

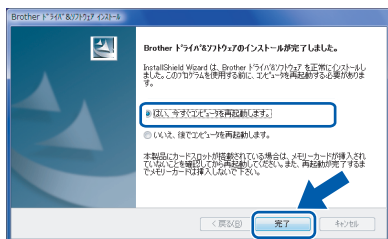
以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

注意

- 以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。

- Windows®のファイアウォール機能やウィルス対策ソフトのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。

10 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 11 に進みます。

11 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

13 正しく印刷できることを確認し、ファイアウォールソフトウェアを再起動する

ファイアウォールの設定によっては、ネットワークスキャンや PC-FAX を使用する際にネットワークへの接続ができなくなる場合があります。

Windows®のファイアウォール機能をお使いの場合は、下記の手順にしたがってください。ウィルス対策ソフトのファイアウォールソフトウェアをご使用の場合は、ウィルス対策ソフトのマニュアルにしたがって設定してください。

(1) ［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［Windows ファイアウォール］－［設定の変更］の順にクリックします。

(2) ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、次の手順に従います。

- 管理者権限を持つユーザーの場合

［続行］をクリックします。

- 管理者権限を持たないユーザーの場合

管理者アカウントパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

(3) 「Windows ファイアウォールの設定」が表示されます。
［全般］タブで［有効］がオンになっていることを確認します。

(4) ［例外］タブをクリックします。

(5) ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

(6) ネットワークスキャン用に 54925 番ポートを追加するには下記のように入力します。

1) ［名前］には、「Brother NetScan」のように内容のわかるものを入力します。

2) ［ポート番号］には「54925」と入力します。

3)［プロトコル］は［UDP］を選択します。

［OK］をクリックします。

(7) 再度［ポートの追加］をクリックします。

(8) MFC-460CN の場合
PC-FAX 用に 54926 番ポートを追加するには下記のように入力します。

1)［名前］には、「Brother PC-Fax」のように内容のわかるものを入力します。

2)［ポート番号］には「54926」と入力します。

3)［プロトコル］は［UDP］を選択します。

［OK］をクリックします。

(9) 新しい設定が追加されたのを確認して、［OK］をクリックします。

(10) 以上の設定をしても、ネットワークスキャンやネットワーク印刷などに問題が発生する場合は、［例外］タブで［ファイルとプリンタの共有］をチェックして、［OK］をクリックします。

無線 LAN 環境に接続する

本製品を無線 LAN アクセスポイントや無線 LAN 対応のパソコンと、無線で接続します。複数のパソコンから無線で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線 LAN 環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品を無線 LAN アクセスポイント（または無線 LAN 対応のパソコン）の近くに設置してください。
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなります。

● 通信に関する注意

- 環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線 LAN または USB 接続で印刷することをおすすめします。

無線 LAN に関する用語

● SSID とは

接続先のネットワークを識別するための ID です。接続先の SSID を本製品に設定することによって、無線での通信が行えます。
無線 LAN アクセスポイントの設定によっては、セキュリティの強化のために、SSID を非表示にする機能が有効になっている場合があります。（SSID の隠ぺい）

● 認証方式と暗号方式について

無線 LAN を使用する場合、通信内容を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されるのを防ぐために、セキュリティの設定が必要です。セキュリティに関する設定として、「認証方式」と「暗号化方式」があります。本製品は、以下の方式をサポートしています。

- 認証方式
  オープンシステム認証、共有キー認証、WPA-PSK/WPA2-PSK
- 暗号化方式
  WEP、TKIP、AES

● インフラストラクチャ通信

インフラストラクチャ通信のネットワークでは、ネットワークの中心に無線 LAN アクセスポイントが設置されています。無線 LAN アクセスポイントは、有線のネットワークへ橋渡しをする他にゲートウェイとしても機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを無線 LAN アクセスポイントを経由して受け取ります。

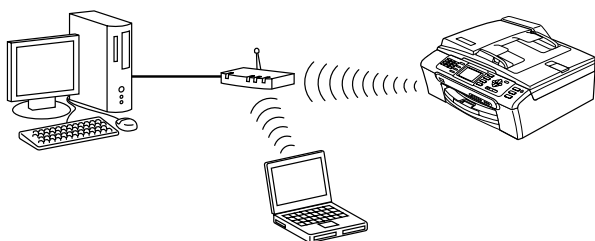
● 無線 LAN アクセスポイント

ネットワークに無線で接続するための親機のことで、ネットワークの中心に位置します。個々の無線 LAN 端末は子機を装着し、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。無線 LAN アクセスポイントはまた、無線 LAN のセキュリティ管理も行います。無線 LAN ルータと呼ばれることもあります。

● アドホック通信

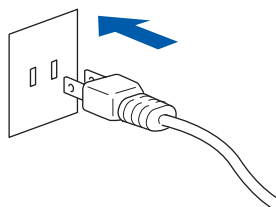
アドホック通信のネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線 LAN アクセスポイントが存在しません。それぞれの無線 LAN 端末は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピュータからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。

> 用語について詳しくは、画面で見るユーザーズガイドをご覧ください。
> ⇒画面で見るユーザーズガイド「ネットワーク設定」

AOSS™ 機能を使って無線 LAN の設定をする

ご使用の無線 LAN アクセスポイントが AOSS™ に対応している場合は、かんたんに無線 LAN の設定を行えます。ご使用の無線 LAN アクセスポイントに以下のロゴが付いているかご確認ください。
AOSS™ に対応していない場合は、次ページの「操作パネルから無線 LAN の設定をする」へ進んでください。

注意

■ 無線LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。
初期化方法　⇒ 18 ページ「LAN 設定を初期化する」

1 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

2 無線 LAN アクセスポイントの AOSS™ ボタンを押す

詳しい設定方法は、お使いの無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

3 本製品のネットワーク I/F を切り替える

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、

OK を押す

(2) ▲▼ で【ネットワーク I/F】を選び、OK を押す

◆ 本製品の液晶ディスプレイに現在の設定が表示されます。

(3) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す

設定が完了します。

4 ▲▼ で【無線設定】を選び、OK を押す

5 ▲▼ で【AOSS】を選び、OK を押す

AOSS™ 機能を使って、自動接続が開始されます。

- 【通信エラー】と表示された場合は、もう一度上記の手順をお試しください。
- 設定がうまくいかない場合は、一時的に本製品と無線 LAN アクセスポイントの距離を 1m 程度に近づけてください。
- 無線電波の強さは、液晶ディスプレイの待ち受け画面で確認できます。

無線 LAN の設定は終了しました。引き続き、ドライバとソフトウェアのインストールを行ってください。

13 ページ「操作パネルから無線 LAN の設定をする」手順 9

操作パネルから無線 LAN の設定をする

注意

- 本製品にメモリーカードが差し込まれていないことを確認してください。
- USB ケーブルが接続されている場合は、USB ケーブルを本製品から外してください。
- 無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。⇒ 18 ページ「LAN 設定を初期化する」
- 本製品のネットワークインターフェースは、有線 LAN と無線 LAN を同時に使用することはできません。
- アドホックモードで接続する場合は、接続先のパソコンの設定もアドホックモードにする必要があります。
- 無線 LAN の設定について詳しくは、「画面で見るユーザーズガイド」をご覧ください。

Windows® のファイアウォール機能や、ウィルス対策ソフトをお使いの場合は、ファイアウォール機能を無効にしてからインストールを行ってください。

本製品の MAC アドレス（イーサネットアドレス）を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。
⇒ 20 ページ「ネットワークの設定内容を印刷する」

1 お使いの無線 LAN アクセスポイントの設定を書き留める

以下に記入してください。
アドホックモードの場合は、接続するパソコン上で設定を行い、その設定内容を書き留めてください。また、接続先のパソコンの設定もアドホックモードに設定する必要があります。

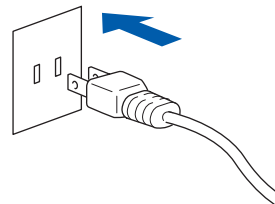
SSID（必須）	
WEP キー *1、2	
WPA-PSK *2 (TKIP ／ AES) WPA2-PSK (AES)	

*1 WEP キーは、次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで記入します。

- 64(40)bit　ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。
  例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
- 64(40)bit　16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234aba"
- 128(104)bit　ASCII 文字：半角 13 文字で入力します。
  例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
- 128(104)bit　16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。
  例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"

*2 設定されていない場合は、記入する必要はありません。

SSID、WEP キー、WPA-PSK/WPA2-PSK について
⇒ 11 ページ「無線 LAN に関する用語」

2 本製品の電源コードをコンセントに差し込む

3 本製品のネットワーク I/F を切り替える

(1) 本製品の メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【ネットワーク I/F】を選び、OK を押す

◆ 本製品の液晶ディスプレイに現在の設定が表示されます。

(3) ▲▼ で【無線 LAN】を選び、OK を押す

◆ 設定が完了します。

4 設定ウィザードを起動する

(1) ▲▼ で【無線設定】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【設定ウィザード】を選び、OK を押す

無線 LAN の設定ウィザードが起動します。
本製品から接続できる無線ネットワークが検索されます。

Windows® 無線 LAN

5 で本製品と接続する無線LANアクセスポイントを選び、OK を押す

手順 1 で書き留めた SSID を選びます。

6 認証方法と暗号化方式を設定する

認証方法と暗号化方式について
⇒ 11 ページ「無線 LAN に関する用語」

アドホックモードの場合は、下記の A）または B）のどちらかを選びます。共有キー認証（C と D）の選択肢は表示されません。

A) オープンシステム認証で暗号化なしの場合

(1) で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) で【なし】を選び、OK を押す

◆ MFC-460CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒1を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。
DCP-750CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒＋を押してください／いいえ　⇒－を押してください】と表示されます。

(3) MFC-460CN の場合
1 を押す
DCP-750CN の場合
＋ を押す

B) オープンシステム認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) で【オープンシステム認証】を選び、OK を押す

※ アドホックモードの場合は、この操作は必要ありません。

(2) で【WEP】を選び、OK を押す

(3) で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(4) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

◆ MFC-460CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒1を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。
DCP-750CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒＋を押してください／いいえ　⇒－を押してください】と表示されます。

(5) MFC-460CN の場合
1 を押す
DCP-750CN の場合
＋ を押す

C) 共有キー認証で暗号化方式が WEP の場合

(1) で【共有キー認証】を選び、OK を押す

(2) で使用する WEP キーを選び、OK を押す

(3) 手順 1 で書き留めた WEP キーを入力し、OK を押す

◆ MFC-460CN の場合
WEPキーの入力のしかたは20ページをご覧ください。
DCP-750CN の場合
を押して入力してください。◀ と ▶ でカーソルが動かせます。

◆ MFC-460CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒1を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。
DCP-750CN の場合
【設定を適用しますか？／はい　⇒＋を押してください／いいえ　⇒－を押してください】と表示されます。

(4) MFC-460CN の場合
1 を押す
DCP-750CN の場合
＋ を押す

D) 共有キー認証（WPA/WPA2-PSK）で暗号化方式が TKIP または AES の場合

(1) で【WPA/WPA2-PSK】を選び、OK を押す

(2) 手順 1 で書き留めた WPA/WPA2-PSK（TKIP/AES）キーを入力し、OK を押す

◆ MFC-460CN の場合

WEPキーの入力のしかたは20ページをご覧ください。

DCP-750CN の場合

▲▼ を押して入力してください。◀ と ▶ でカーソルが動かせます。

◆ MFC-460CN の場合

【設定を適用しますか？／はい　⇒1を押してください／いいえ　⇒ 2 を押してください】と表示されます。

DCP-750CN の場合

【設定を適用しますか？／はい　⇒＋を押してください／いいえ　⇒ーを押してください】と表示されます。

(3) MFC-460CN の場合

1 を押す

DCP-750CN の場合

＋ を押す

7 正常に接続できたか確認する

液晶ディスプレイに【接続しました】と表示されます。

接続できなかった場合は、手順 3 ～ 6 をもう一度お試しください。

8 本製品の電源コードをコンセントから外し、もう一度差し込む

無線 LAN アクセスポイントから、自動的に本製品に IP アドレスが割り当てられます。

お使いの無線 LAN アクセスポイントが DHCP を使用していない場合は、手動で設定を行う必要があります。
⇒画面で見るユーザーズガイド「ネットワーク設定」

9 パソコンの電源を入れる

「管理者権限を持つユーザ」でログオンします。

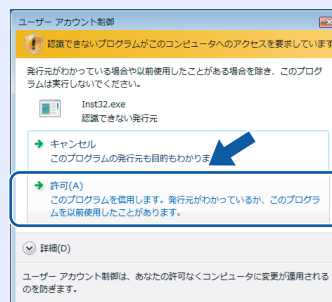
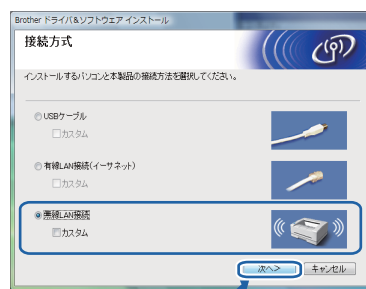
10 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

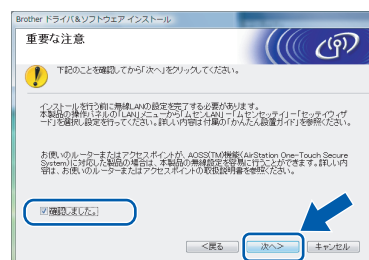
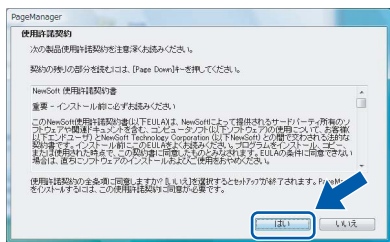
モデルを選ぶ画面が表示されたときは、お使いのモデルをクリックします。

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

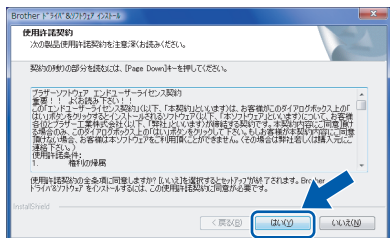
11 ［インストール］をクリックする

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、［許可］をクリックしてください。

12 ［無線 LAN 接続］を選び、［次へ］をクリックする

13 「確認しました」をチェックして、［次へ］をクリックする

Windows® 無線 LAN

14 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

Presto!® PageManager® がインストールされます。

Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

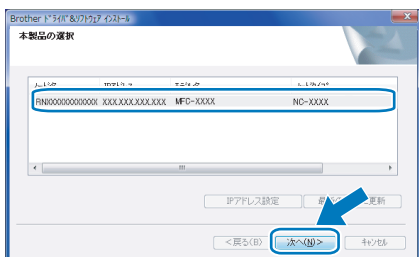
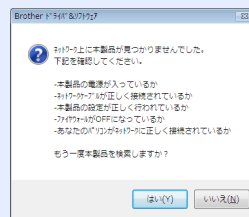
15 使用許諾契約の内容を確認して［はい］をクリックする

ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

本製品のネットワーク接続の設定が終了している場合は、本製品をリストで選択し、［次へ］をクリックしてください。
ネットワーク上の機器が 1 台だけの場合、このウィンドウは表示されず、その機器が自動的に選択されます。

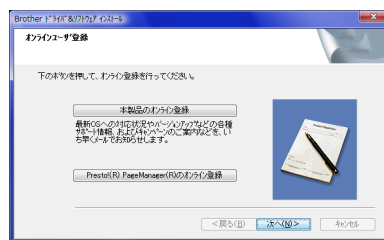
画面の IP アドレス欄に APIPA と表示された場合は、［IP アドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品の IP アドレスを入力します。

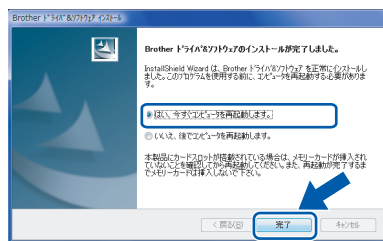
以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］をクリックし、インストールを完了させてください。

注意

■ 以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、ノード名や IP アドレスなどを設定してください。

■ Windows®のファイアウォール機能やウィルス対策ソフトのファイアウォールの設定が有効になっている場合も、上記の画面が表示されます。ファイアウォールの設定を確認し、無効にしてください。

16 ユーザー登録をする

すぐにユーザー登録をする場合は［本製品のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録が済んでいる場合や、後でユーザー登録をする場合は手順 17 に進みます。

17 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

18 ［完了］をクリックする

パソコンが再起動します。
ドライバが正しくインストールされなかった場合は、再起動したあと、自動的にインストール診断ツールが起動します。画面の指示に従ってください。

19 正しく印刷できることを確認し、ファイアウォールソフトウェアを再起動する

ファイアウォールの設定によっては、ネットワークスキャンや PC-FAX を使用する際にネットワークへの接続ができなくなる場合があります。

Windows®のファイアウォール機能をお使いの場合は、下記の手順にしたがってください。ウィルス対策ソフトのファイアウォールソフトウェアをご使用の場合は、ウィルス対策ソフトのマニュアルにしたがって設定してください。

(1) ［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［Windows ファイアウォール］－［設定の変更］の順にクリックします。

(2) ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、次の手順に従います。

■ 管理者権限を持つユーザーの場合

［続行］をクリックします。

■ 管理者権限を持たないユーザーの場合

管理者アカウントパスワードを入力して、［OK］をクリックします。

(3)「Windows ファイアウォールの設定」が表示されます。
［全般］タブで［有効］がオンになっていることを確認します。

(4) ［例外］タブをクリックします。

(5) ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

(6) ネットワークスキャン用に 54925 番ポートを追加するには下記のように入力します。

1) ［名前］には、「Brother NetScan」のように内容のわかるものを入力します。

2) ［ポート番号］には「54925」と入力します。

3) ［プロトコル］は［UDP］を選択します。

［OK］をクリックします。

(7) 再度［ポートの追加］をクリックします。

(8) MFC-460CN の場合
PC-FAX 用に 54926 番ポートを追加するには下記のように入力します。

1) ［名前］には、「Brother PC-Fax」のように内容のわかるものを入力します。

2) ［ポート番号］には「54926」と入力します。

3) ［プロトコル］は［UDP］を選択します。

［OK］をクリックします。

(9) 新しい設定が追加されたのを確認して、［OK］をクリックします。

(10)以上の設定をしても、ネットワークスキャンやネットワーク印刷などに問題が発生する場合は、［例外］タブで［ファイルとプリンタの共有］をチェックして、［OK］をクリックします。

Windows®
USB

ドライバをアンインストールするときは

ドライバをアンインストールするときは、スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-460CN または DCP-750CN］－［アンインストール］の順に選択し、画面の表示に従ってください。

LAN 設定を初期化する

無線 LAN 設定に失敗した場合や、再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから、再度無線 LAN 設定を行ってください。
LAN 設定の初期化は、下記の手順で行います。

(1) メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【LAN 設定リセット】を選び、OK を押す

◆ MFC-460CN の場合
【LAN 設定リセット／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
DCP-750CN の場合
【LAN 設定リセット／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます

(3) MFC-460CN の場合

1 を押す

◆【再起動しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

DCP-750CN の場合

＋ を押す

◆【再起動しますか？／はい ⇒＋を押してください／いいえ ⇒－を押してください】と表示されます。

(4) MFC-460CN の場合

1 を押す

DCP-750CN の場合

＋ を押す

◆ 数秒後に本製品が再起動します。再起動が終わるまで、しばらくお待ちください。

本製品のネットワークインターフェースを切り替える

本製品側で、有線 LAN、無線 LAN のどちらを利用するか切り替えます。お買い上げ時は、【有線 LAN】に設定されています。

(1) メニュー を押し、▲▼ で【LAN】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【ネットワーク I/F】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で【有線 LAN】または【無線 LAN】を選び、OK を押す

◆ 設定が完了します。

ネットワーク管理者の方へ

BRAdmin Light を使う

BRAdmin Light は、ブラザー製ネットワーク接続機器の初期設定用ユーティリティです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定ができます。

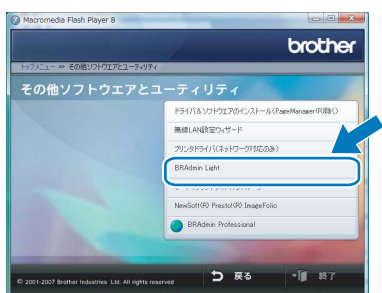
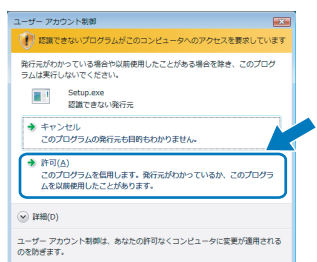
BRAdmin Light の詳細は、「ブラザーソリューションセンター」（http://solutions.brother.co.jp/）を参照してください。

> さらに高度なプリンタ管理が必要な場合は、最新のブラザー BRAdmin Professional ユーティリティをお使いください。
> 「ブラザーソリューションセンター」（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードすることができます。

■ BRAdmin Light をインストールする

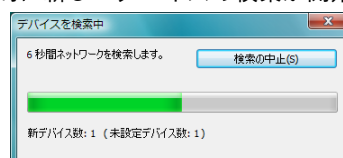
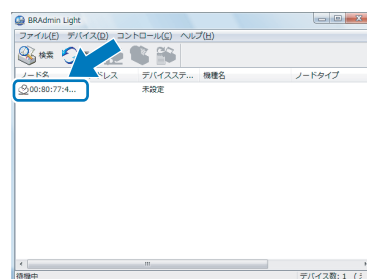
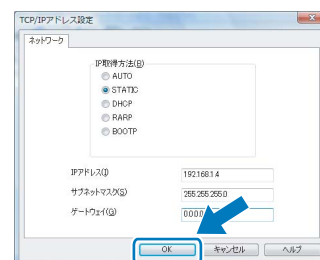
> プリントサーバーのお買い上げ時のパスワードは、［access］に設定されています。BRAdmin Light でパスワードを変更することができます。

1 ［その他ソフトウエアとユーティリティ］をクリックする

2 ［BRAdmin Light］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする

3 ［ユーザーアカウント制御］の画面が表示されたときは［許可］をクリックする

■ BRAdmin Light を使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する

> DHCP/BOOTP/RARP サーバーの場合は、次の操作で IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する必要はありません。プリントサーバーが自動的に IP アドレスを取得します。

1 BRAdmin Light を起動する

自動的に新しいデバイスの検索が開始されます。

2 新しいデバイスをダブルクリックする

3 ［IP 取得方法］から［STATIC］を選び、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力し、［OK］をクリックする

4 アドレス情報が本製品に保存されました。

ネットワークの設定内容を印刷する

1. メニュー を押し、▲▼で【レポート印刷】を選び、OK を押す

2. ▲▼で【LAN 設定内容リスト】を選び、OK を押す

3. モノクロ または カラー を押す

WEP キーの入力のしかた（MFC-460CN の場合）

WEP キーなどの英数字を入力するときはダイヤルボタンを使います。

ボタン	1 回押し	2 回押し	3 回押し	4 回押し	5 回押し	6 回押し	7 回押し	8 回押し
2	a	b	c	A	B	C	2	a
3	d	e	f	D	E	F	3	d
4	g	h	i	G	H	I	4	g
5	j	k	l	J	K	L	5	j
6	m	n	o	M	N	O	6	m
7	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	t	u	v	T	U	V	8	t
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z

スペースを入力するには
ファクス番号にスペースを入力するには、番号の途中で▶を 1 回押します。名前にスペースを入力するには文字の間で▶を 2 回入力します。

文字を訂正するには
間違って入力した文字を訂正するには、◀を押し訂正したい文字までカーソルを移動させて、クリア/バック を押します。正しい文字を入力しなおします。文字の挿入も可能です。

続けて文字を入力するには
同じボタンで続けて文字を入力するには、ボタンを押す前に▶を押してカーソルを 1 文字分移動させます。

記号や特殊な文字を入力するには
入力したい記号や特殊文字が表示されるまで繰り返し * 、# 、0 を押します。OK **を押すと入力を確定します。**

*	(半角スペース)!”#$%&’()*+,-./
#	:;<=>?@[]^_
0	0¥{|}~0

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows Vista® の正式名称は、Microsoft Windows Vista® operating system です。

Microsoft 、Windows、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
AOSS は、株式会社バッファローの商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your Printer may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。